

教会に仕える人を育てる

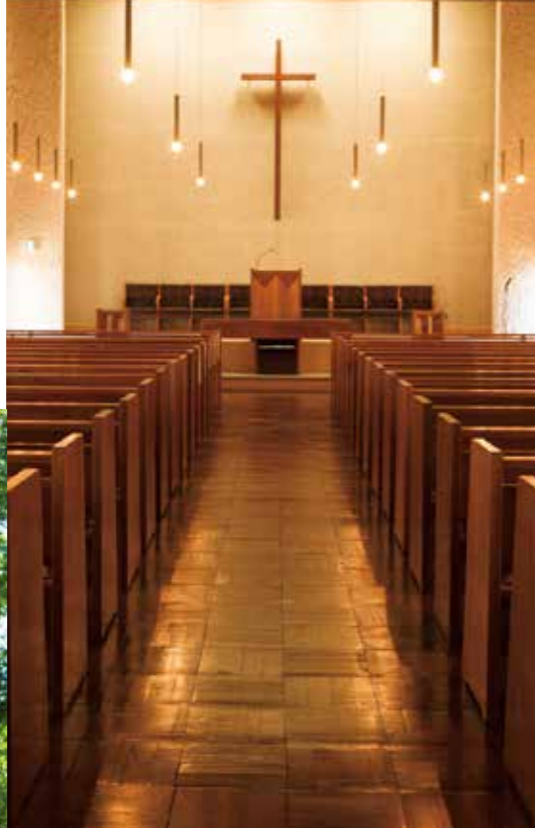


PHOTO: CAC

TOKYO UNION THEOLOGICAL SEMINARY 2016

学校法人

東京神学大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-30

TEL: 0422-32-4185

FAX: 0422-33-0667

E-mail: tuts@tuts.ac.jp

URL <http://www.tuts.ac.jp/>

東京神学大学では毎年11月・2月・3月に入学試験を行います。
学生募集要項の請求やお問い合わせは、教務課入試係まで。

- JR中央線 東京駅から 武蔵境駅まで約40分
- JR中央線 武蔵境駅南口から小田急バス
2番乗場 境93系統「国際基督教大学」
3番乗場 境91系統「狛江駅北口」
4番乗場 吉01系統「吉祥寺駅」いずれも『西野』下車 徒歩5分
- JR中央線 三鷹駅南口から小田急バス
2番乗場 鷹51系統「国際基督教大学」「調布駅北口」、
「武蔵小金井駅南口」いずれも『西野』下車 徒歩5分



東京神學大學

世界に希望をもたらす神の言葉を取り次ぐために

「疲れた人を
励ますように」(イザヤ書 50:4)

世界の情勢を見ると、私たちの頭上には暗雲が立ちこめているかのように思えます。暴力の連鎖には歯止めがきかず、安穏と暮らしている私たちの日常生活にも不安が忍び寄ってきます。いったいこのような時、人間は何を語ればよいのでしょうか。人間の言葉はどこまで有効なのでしょうか。もちろん政治や法、経済の知識に基づいて状況を分析し、現実的な解決の道を探ることは大事なことです。しかしそれがすべてでしょうか。人間の問題が根本的なところで解決していないところでは、対症療法にはおのずから限界があります。

同じように打ち沈んだ暗い時代のただ中で、イスラエルに預言者が立てられました。彼も欠け多き土の器でしたが、神の知識を学ぶことの中で、神からの知恵と言葉を語るように訓練されます。「主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え、疲れた人を励ますように、言葉呼び覚ましてくださる。朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし、弟子として聞き従うようにしてくださる。主なる神はわたしの耳を開かれた。わたしは逆らわず、退かなかった」(イザヤ書50:4-5)。その言葉が世界に本当の希望をもたらしました。それが最も明確に表示されたものが「福音」、イエス・キリストにおいて世界に救いと平和をもたらそうとする神の言葉です。東京神学大学はそのような神の言葉を深く学び、それを現代世界に取り次ぐために建てられています。神の召しに勇気をもって応えてください。あなたの入学をお待ちします。

学長 芳賀 力

東京神学大学の校章の由来



東京神学大学の校章は、ギリシア語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をアレンジしたものです。テオロギアとは、テオス (theos: 神) についてのロゴス (logos: 言葉・学問) という意味です。神学の学び舎では、著の上げ下げに至るまで、神学することが求められます。



大学認証評価

本学は2012 (平成24) 年度の公益財団法人大学基準協会の大学認定評価を受審し、大学基準に適合していると認定されました。

東京神学大学神学部神学科 アドミッション・ポリシー 〈入学者受け入れ方針〉

本学は以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

1. 召命を確信し現代人の問いに答える福音を語る伝道者をめざす者
2. 神学の学びを志す者
3. 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
4. 幅広い知識と豊かな教養を身につけ、コミュニケーション能力を高めたいと願う者
5. 基礎学力を有し、論理的思考ができる者

沿革と組織

「日本の教会と神学校はなぜ合同したがるのですか?」これは以前本学を訪問した韓国の一神学大学の学生たちが、本学に合流した多様な旧教派神学校の系統図を見て発した驚きの問いです。1つの答えは様々な教会協力合同運動（エキュメニズム）を主軸とし、教派を建設する動機も絡み織りなすドラマ——これが歴史的に見た日本伝道のシナリオと言えます。

三段跳び式に言えば、ホップ段階の明治初期、信仰復興の福音を伝えた日本基督公会という19世紀の合同運動が、教派形成と対抗して移植されました。宣教師ブラウンの神学塾は本学の遠く遡かなる一源流です。

ステップ段階は、20世紀エキュメニズムの日本基督教連盟をエンジンとした教派の協力合同運動の時期です。この頃2つの神学教育機関、東京神学社と明治学院神学部が合同し、日本神学校が誕生しました（1930年）。

このステップの上に、第二次世界大戦時の国家による宗教団体法の超突風も加わり、当時のプロテスタント30余派は多教派間合同教会、日本基督教団へジャンプしました（1941年）。この教団の教職養成校、日本東部および西部神学校、日本女子神学校が合同した日本基督教神学専門学校（1944年）を経て、戦後の1949年に新制東京神学大学が誕生したわけです。

以来、聖書と歴史的な信仰告白の資産を継承し、「教団信仰告白」を規準とした、健全な福音の伝道と諸教会に開かれた神学教育、教団形成の更なるジャンプに努める神学大学——これが本学の基本姿勢です。



日本基督教神学専門学校第1期卒業生と教授たち（1944年9月）

東京神学大学のあゆみ

| | |
|---------------|--|
| 1859 (安政6) 年 | プロテスタント諸教会の宣教師たちによる日本宣教開始 |
| 1872 (明治5) 年 | 横浜に最初の教会「日本基督公会」が設立 |
| 1873 (明治6) 年 | 宣教師 S.ブラウンが横浜に最初の神学塾「ブラウン塾」を開講 |
| 1877 (明治10) 年 | 「東京一致神学校」(のちの明治学院) 開校 |
| 1904 (明治37) 年 | 牧師・植村正久によって「東京神学社」設立 |
| 1930 (昭和5) 年 | 本学の前身となる「日本神学校」設立 |
| 1941 (昭和16) 年 | プロテスタント諸教派の合同教団として日本基督教団設立 |
| 1943 (昭和18) 年 | 教派ごとに分かれていた神学校が「日本東部神学校」「日本西部神学校」「日本女子神学校」の3校に統合 |
| 1944 (昭和19) 年 | 上記の3校が「日本基督教神学専門学校」に合流 |
| 1945 (昭和20) 年 | 敗戦 |
| 1949 (昭和24) 年 | 日本基督教団立の伝道者養成機関として新制大学「東京神学大学」開校 |
| 1966 (昭和41) 年 | 現在の三鷹キャンパスへ移転 |
| 1999 (平成11) 年 | 東京神学大学創立50周年 |
| 2012 (平成24) 年 | 「日本の福音伝道」をめぐり、日本基督教団との協力関係を再確認 |

図書館

元学長の山内眞先生は「東京神学大学は3つのCと1つのLを結びつけて営まれる神学共同体だ」と述べられました。「3C」とは、「礼拝堂(Chapel)、授業 (Class)、教会生活 (Church)」で、「1L」は「図書館(Library)」という名言でした。そして生活は常に改善され、2015年度から図書館は「1L」から「3L」へ進化して、本物にさらに近づきます。

第一に、本学図書館は、従来より東アジア有数の神学専門の図書館です。古今東西のキリスト教文献等およそ12万冊（和書5万冊、洋書7万冊）を所蔵し、学内外の学生、牧師、神学やキリスト教関係の研究者に利用されています。

次に新しい「L」、つまり図書館の2階に「共同学習室 (Learning Commons)」がオープンしました。ここで図書館の書籍・電子データが参照でき、パソコンやプロジェクターを使って、自由にグループを作り、共同学習ができます。

最後に、飲み物やトーク用の「ラウンジ (Lounge)」も図書館のすぐ近くにありますが、これら新「3L」を「3C」に加えて、皆さんの本学での生活を強力支援しています。



図書館

ラウンジ

諸活動

●公開夜間神学講座

1947年以来、信徒、役員、教会学校教師の教育のために、本学の教員を中心とした講師陣による公開夜間神学講座が行われています。日本基督教団銀座教会にて、毎週月曜日と金曜日に開講されています。



公開夜間神学講座夏期研修会

●東京神学大学総合研究所

総合研究所は、日本伝道研究所とアジア伝道研究所から成る学術的な共同研究の拠点です。それぞれ講演会、セミナー、研修旅行などを実施しています。

●刊行物

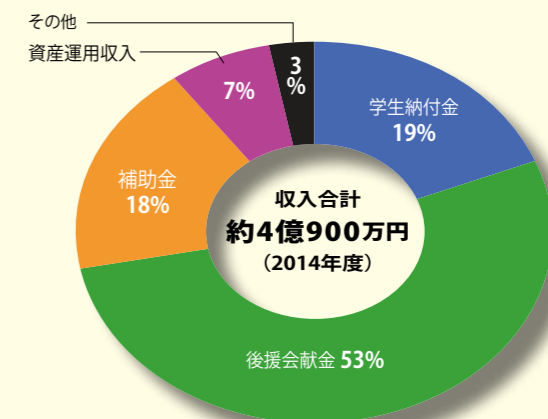
上記の総合研究所からは、研究論文や講演を載せた『伝道と神学』が毎年刊行されます。その他、神学雑誌『神学』、東神大パンフレットなどを刊行しています。特に東神大パンフレットは、諸教会における信徒教育のテキストとしても広く用いられています。



刊行物

●後援会活動

後援会は、全国の地域ごとに地区後援会を組織し、教会・信徒の方々に東京神学大学の働きを伝え、支えとなる献金を呼びかける活動をしています。その寄付金は年間収入の半分を占め、教会の教職・信徒の皆さんが神学校の働きのために祈り支える息遣いが、ここに現れているのです。



東京神学大学の教育の特徴

福音を宣べ伝える人と教会の業に仕える人が 共に学ぶ“召命共同体”

「召命」とは、「神さまの召し」「呼びかけ」です。

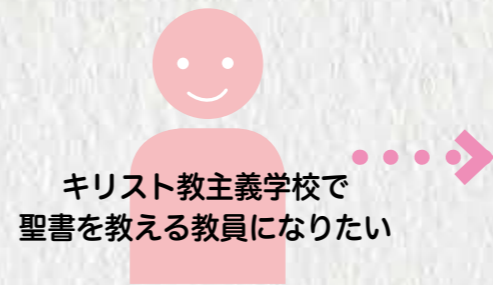
ここで学び、教えるすべての者が、自己実現を目指すのではなく、神さまの招きと呼びかけに応じて神学の学びを志し、将来伝道者となるという決断を与えられたということです。

また、多様な応答として、キリスト教主義学校の教員、信徒として教会に仕える長老、役員や牧師の配偶者のためにも神学教育の場を提供しています。

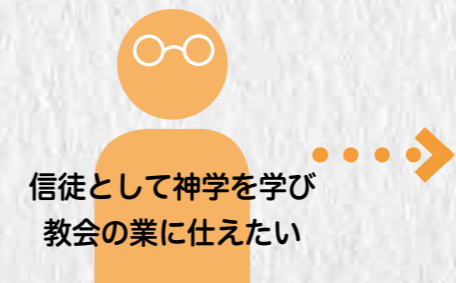
教師と学生が互いに祈りつつ、学び、神学と召命を確かなものとしていく学び舎は、“召命共同体”にふさわしい場所となっています。



将来伝道者を志す方は、入学試験に際しては召命が厳しく問われます。学びへの興味・欲求だけでなく、福音の伝道者として神に召されているのか。キリストの血の代価として罪から買い取られたことを心に刻み、これまでの自分を捨て去って主イエス・キリストに献身する決意があるかどうかという問いです。伝道者を目指して神学を追求するには、学問を究める理性と神と向き合う霊性がひとつとなることが大切だからです。また、学部から大学院までの一貫した神学教育プログラムを提供しているため、ほとんどの学生が、学部1年生から入学した場合は学部4年間と大学院2年間の計6年間、学部3年生から編入学した場合は学部2年間と大学院2年間の計4年間かけて神学を学びます。

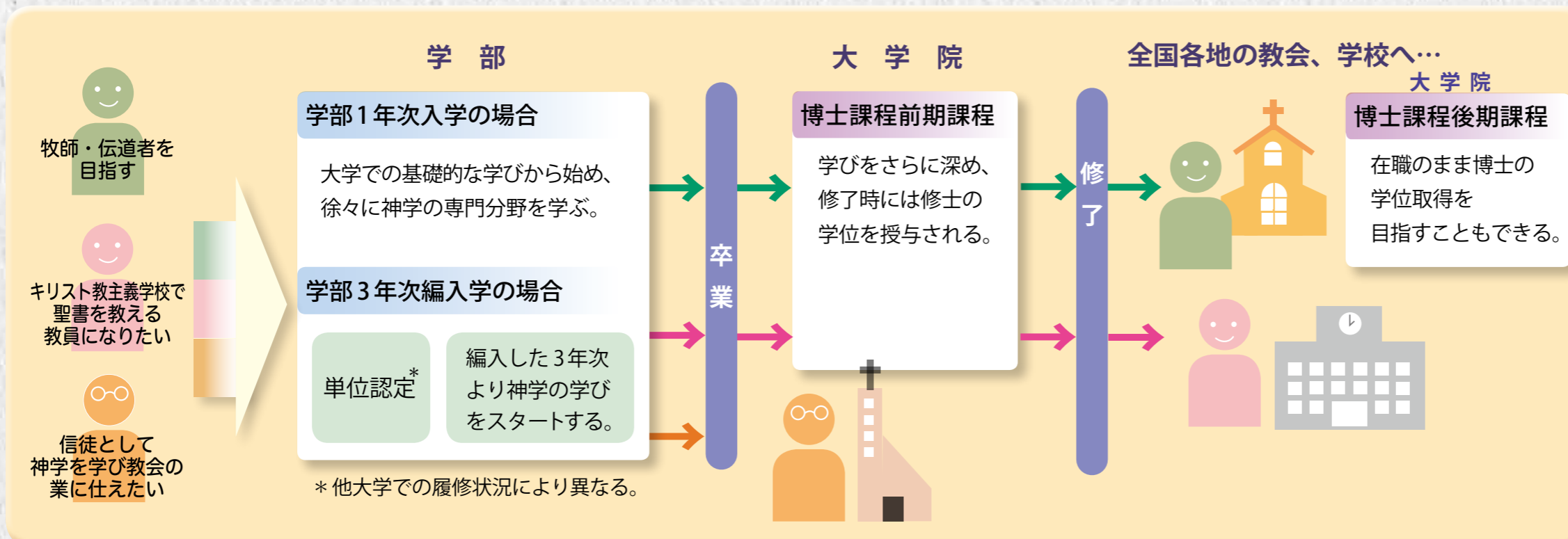


キリスト教主義学校に派遣されて若い魂に福音を語ることも、伝道者や牧師の働きです。本学の大切な使命の1つとして、プロテスタントのキリスト教主義中学校・高等学校における宗教科・聖書科の教師（教務教師）を養成することが挙げられます。本学では、神学教育プログラムと並行して教育職員免許状取得のための課程があり、これまでも多くの教師を送り出してきました。彼らの学校での働きの中から、次世代を担う受洗者、献身者が起こされています。



東京神学大学は、多くのプロテスタント諸教派の神学校が合流してできた合同神学校（Union Seminary）です。神学教育機関として各神学校の伝統を引き継ぎつつ、日本のプロテスタント諸教会が総力を注いで育んだ高度な神学教育を提供しています。そのために、東京神学大学は「教会による、教会のための大学」と呼ばれ、神学生のみならず教会の信徒のためにも門戸を広げ、教会に仕えるための神学を学ぶ場が用意されています。

■一貫した教育プログラム



教育職員免許状（宗教）の取得が可能

本学の教職課程は1954年に設けられ、今日まで多くの優れた聖書科教師を輩出してきました。免許状は、教会付属幼稚園の園長となる際にも有効に用いられています。さらに、免許状を取得した卒業生の多くは、教会と良い関係を築き上げ伝道に貢献するだけでなく、キリスト教教育を通して公教育にも貢献してきました。本学の教職課程は、キリスト教主義学校において教育と伝道の業に励みつつ、建学の精神を実質的に担う教師を養成することを目標としています。

- ・中学校教諭一種免許状（宗教）
- ・高等学校教諭一種免許状（宗教）
- ・中学校教諭専修免許状（宗教）
- ・高等学校教諭専修免許状（宗教）

4つの神学

聖書神学 聖書の成立を知り、解釈を学ぶ



授業紹介—「新約聖書学部演習」

テキスト独自のメッセージを原典から聴き取ります。



2015年度学部4年
阪根 啓子

ルカ福音書7章11-17節のナインのやもめの一人息子の物語をもとに、釈義の基本を丁寧に学んでいます。写本の異読、伝承とルカの編集の跡、聖書以外の類似した奇跡治癒物語との比較、当時の社会的背景、七十人訳

聖書との関連性、ルカ福音書全体におけるこの物語の文学的機能などを知るため、様々な文献を読みます。しかし、なによりもギリシャ語テキストを徹底的に読みこなします。ルカの神学を、皆と一緒に勉強しています。

組織神学 神の真理を総合的に明らかにし、神讃美へと至る



授業紹介—「組織神学演習1」

現代社会における福音と教会の関係を探求します。



2015年度大学院
博士課程前期課程1年
上田 文

組織神学演習1は、物語の神学におけるキリスト論と救済論を扱っています。学部ではプロテスタントの神学の基礎を学ぶのに対し、大学院に入りカトリックの神学をも扱うことで福音主義教会の神学を立体的に考える機会を得ています。

教会を生かしてきたイエス・キリストの事実は、純粋な史的研究ではなく、物語という形を取ります。贖罪と救済の説教を通して、イエス・キリストが私たちに近づいてくださるというのはどの教派にも共通の事柄であることを学びました。

聖書に、何が伝えられているのか

聖書学 聖書神学とは、私たちの礼拝の中で朗読される聖書に、何が伝えられているかを解明する学問です。説教は、教会によって立てられた説教者が、聖書に基づいて語る時に、神の言葉として聞かれます。説教者が自分の思いを語るのではなく、聖書が証するキリスト御自ら語ってくださいます。

勝手な読みこみを批判し吟味する学問

しかしどのようにして、説教者の勝手な読み込みと、聖書それ自体が聖霊によって証言する主の御心を聞き分けることができるのでしょうか。聖書学/聖書神学は、聖書のテキストを、それらが語られた歴史の中に戻し、本来どのような歴史の中で、何を告げようとしたものなのかを解明します。またそのテキストが、どのように伝えられ、解釈されてきたかを学びます。それによって、私たちの読みを批判し吟味するのです。学んだ人は、聖書の成立や伝承の歴史を知り、釈義の手法を身につけ、語学、文献学、文学、歴史学、考古学といった財産を得ることになります。

教義学を中心に、倫理学、弁証学の三分野から成る

組織神学は、神の恵みの真理を現代の文脈の中で深く探究し、伝統を踏まえつつ責任的に証言しようとしています。そのうち「教義学」は、神の啓示を証言する聖書に基づき、父・子・聖霊なる三位一体の神とその御業を、体系的に考察します。「倫理学」は、キリスト者と教会が具体的な生活の場で、どう考え、行動すべきかを考察します。そして、「弁証学」は、現代社会にあってキリスト教に向けられるさまざまな疑問に対して、福音の真理性を明証しようとするものです。

教会とキリスト者を支えて神を讃美する

神学は人間の業ですから、どれも完全・絶対ではありません。常に「より深く、より明らかに」と、祈りをもって取り組まれるものです。そして、今の世に対して、「世の光」である神の真理を伝え、教会とキリスト者の信仰を支え、神を讃美します。祈りに支えられた理性的探究が神讃美に至る。それが組織神学の魅力です。

歴史神学 2000年の諸教会の歴史を学ぶ



授業紹介—「教会史III」

信仰や教会の様々な歴史に触れると現代が新しく見えてきます。



2015年度学部3年
竹田 沙絵里

教会史IIIでは宗教改革の歴史を学びます。先生の熱い語りにより、宗教改革時代の教会や社会の様子、改革者達の生き様が、教室に生き生きと立ち現われて来ます。学生は、資料を読み、それぞれの改革の神学の特質を

探ります。歴史を辿りながら、改革者達の向き合った問いに、私達もまた向かわれます。改革の歴史が動いたその時、まず神が御言葉によってひとりの信仰者の内面を改革されたことを痛切に思い知らされています。

実践神学 福音伝道の実際と結びつけて学ぶ



授業紹介—「教育基礎論II」

神の言葉の教育実践に生きる課題発見能力を養います。



2015年度学部3年
黛 由香里

この授業では、教育制度や、社会における教育について学びます。教育の基礎的な事柄について、キリスト者として学び、先生、仲間と交わりを持って、大変有意義な時です。教育について、歴史を辿りつつ現代の様

相に至った経緯を学び、さらに国際比較もしました。私達が違わされる世の在り方を知り考えることは、今後活かされると感じます。先生の牧師、教育者、キリスト者としての体験談を伺えるのも楽しいクラスです。

歴史神学 / 教会史とは

歴史神学 / 教会史とは、キリスト教会の二千年に及ぶ歴史を辿るとともに、教会の教え(教理)がどのように形成されてきたかを明らかにする学問です。歴史学の手法を用いますが、主イエス・キリストにおける神の啓示を出発点とする神学の一領域です。これらの研究によって、教会の歴史のドラマを知るとともに、今後の教会形成や伝道のための、具体的な指針を学ぶこともできます。

古代から宗教改革を経て現代まで

学部では、古代から現代日本までの教会の歩みを辿る教会史I~V、教理史(選択)、世界と日本の宗教史、ラテン語(選択)などを学びます。大学院では、古代から現代までの欧米、日本の教会の教理史、神学思想史、霊的生活史などの科目が開講され、学部での学びが更に深められるようコースが用意されています。

神の実践に参加するために

実践神学のルーツは、「牧者の学」「司牧学」にあります。しかし、「牧師の実践」にまさって、「神の実践」すなわち「神の救済行動」が主題ですから、今日では「実践神学」と呼んでいます。牧師の務めは、神の実践に参加させていただくことです。神の救済行動の中で、人間が神の道具として用いられるために、「説教学」「礼拝学」「牧会学」「キリスト教教育学」の学びが必要になります。

神学諸科を統合する課題も

そもそも神学全体が生きておられる神を神として崇め、神の実践にお任せするためにあります。教会やキリスト教学校での働きには、神学的な知識、能力を総動員することになります。そのため実践神学には、神学諸科を統合して、教会や学校での実践に結びつけるという課題もあります。

教員紹介

紹介項目

- ① 略歴
- ② 研究、関心領域
- ③ 主な担当科目



関川泰寛 せきかわ やすひろ

- ① 英エディンバラ大学神学部卒。1983年東神大大学院修士課程卒（神学修士）。日本基督教団正教師。1996年着任、現在、教授。
- ② 古代教会史、教父学など。古代の教会史・教理史の研究をしています。4世紀の正統と異端の論争、教理と礼拝や霊性との関係、キリスト論や三一論の形成など。主著に『アタナシオス神学の研究』があります。
- ③ 教会史、教理史演習など。

パストラルケア担当



ウェイン・ジャンセン Wayne Jansen

- ① 米ウェスタン神学大学大学院博士課程卒（牧会学博士）。米国改革派教会正教師（現在、日本基督教団への宣教師）。2002年着任、現在、教授。
- ② 学生の相談を受けるパストラルケアセンターの室長です。「臨床牧会教育」を担当し、受講者が自らの個人的な課題を把握することを通し、より有能な牧会者になることが目的です。
- ③ 牧会心理学、臨床牧会教育、教会実習など。

パストラルケアセンター



パストラルケアセンターは、担当教員による個人的な面接を行うことはもちろん、コーヒーを飲みながら、小グループで聖書研究や現代の課題について話し合う場として用いられています。



芳賀 力 はが つとむ

- ① 1979年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1988年着任、現在、教授。
- ② キリスト教組織神学（教義学、倫理学、弁証学）。現在『神学の小径』（I. 啓示への問い、II. 神への問い、III. 創造への問い）で、キリスト教信仰の新しい体系的考察に取り組んでいます。物語る教会を土台にした教会の教え（教理）の再構築です。
- ③ 組織神学、組織神学演習など。



神代真砂実 こうじろ まさみ

- ① 1987年東神大大学院卒。英アバディーン大学神学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。1998年着任、現在、教授。
- ② 教義学、特にカール・バルトの神学思想。キリスト教の信仰内容を体系的に関連づけた、現代社会とキリスト教との関係を考える分野が専門です。「ミステリとキリスト教」ということさえ扱えます！
- ③ 神学通論、組織神学、組織神学演習など。



焼山満里子 やきやま まりこ

- ① 1997年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。2007年着任、現在、准教授。
- ② 新約聖書、特にパウロ研究。パウロの伝道、教会形成について、またパウロ教会を中心とした初期キリスト教思想形成を研究しています。
- ③ 新約聖書神学、新約聖書積義など。



長山 道 ながやま みち

- ① 2002年東神大大学院卒（神学修士）。現在、独ボン大学神学部博士課程在籍。日本基督教団正教師。2013年着任、現在、准教授。
- ② キリスト教教育学、組織神学。「すべてのキリスト教教育は信仰への道である」というコンセプトのもと、福音伝道としてのキリスト教教育に実践神学的・組織神学的にアプローチします。
- ③ 教会教育入門、教育基礎論など。



大住雄一 おおすみ ゆういち

- ① 1983年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1990年着任、現在、教授。
- ② トーラーの解釈。旧約を読むと、律法は人を縛るものではなく、喜びであり、恵みとして讃美されています。律法とは何でしょう。教会でもその恵みを共に味わいたい。その恵みを探る研究です。
- ③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典積義など。



小友 聡 おとも さとし

- ① 1986年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒（神学博士）。日本基督教団正教師。1999年着任、現在、教授。
- ② 旧約聖書およびユダヤ教の黙示思想など。旧約聖書の中で後期の文学が研究領域。コヘレトの言葉やダニエル書など周遍的な文書から旧約（ユダヤ教）の思想や倫理を探求しています。コヘレトの言葉と黙示思想の関係に関心があります。
- ③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典積義など。



小泉 健 こいずみ けん

- ① 1997年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒（神学博士）。日本基督教団正教師。2008年着任、現在、准教授。
- ② 説教、教会建設論など。宗教改革者は教会を「御言葉の創造物」と呼びました。説教が教会を建設するとはどういうことかを、改めて探求しています。そこから教会のあらゆる営みへと課題が広がります。
- ③ 実践神学概論、説教演習など。



田中 光 たなか ひかる

- ① 2008年東神大大学院卒。加トロント大学ウィクリフ・カレッジ神学修士課程卒（神学修士）。東神大博士課程後期課程単位取得退学。日本基督教団補教師。2015年着任、現在、助教。
- ② 旧約聖書、特に預言書、また旧約カノンの意義（B. S. チャイルズの思索を中心に）などに関心があります。更に、旧約の教会における解釈、特に古代教父の解釈にも大きな関心を寄せています。
- ③ 聖書通論（旧約）、旧約聖書学部演習など。



朴 憲郁 パク ホンウク

- ① 1974年東神大大学院卒。監理教神学大学研修。韓国イエス教長老会神学大学大学院卒。独テュービンゲン大学神学部博士課程卒（神学博士）。在日大韓基督教団正教師（現在、日本基督教団への宣教師）。1994年着任、現在、教授。
- ② キリスト教教育、アジア・キリスト教伝道学、新約神学。
- ③ キリスト教教育概論、アジア伝道論演習、キリスト教教育特講など。



中野 実 なかの みのる

- ① 1987年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。2001年着任、現在、教授。
- ② これまで信仰と歴史の関係に神学的関心を抱きつつ、史的イエス研究、福音書研究に従事。現在、ヘブライ書の研究も開始し、註解書を執筆中です。
- ③ 新約聖書神学、新約聖書積義、新約聖書学特講など。



須田 拓 すだ たく

- ① 2000年東神大大学院卒。英ケンブリッジ大学神学部留学。東神大博士課程修了（神学博士）。日本基督教団正教師。2013年着任、現在、准教授。
- ② 神が三位一体のお方であることが信仰全体にどのように影響しているかや、神の御業と人間の自由の関係について、また17世紀イギリス・ピューリタン神学の現代における意義について研究しています。
- ③ 組織神学、組織神学演習、キリスト教通論、組織神学特講など。



棚村重行 たなむら しげゆき

- ① 1977年東神大大学院卒。米シカゴ大学神学部博士課程卒（哲学博士）。日本基督教団正教師。1993年着任、現在、特任教授。
- ② 19世紀アメリカ神学思想史、19世紀日本プロテスタント神学思想史など。2009年に「二つの福音は波瀾を越えて」を出版しました。現在は、「二つの福音は山河を越えて」というテーマで、日米神学思想一関係史の研究を続けています。2014年度から「英米日・福音主義の歴史」というゼミも開講しました。
- ③ 教会史、教会史特講など。

授業科目一覧

学部

★必修科目 ☆選択科目 *選択必修科目 ◇専攻必修科目

入学・編入学年度により履修対象科目が異なります。

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|---------------------------|--|--|--|--|
| 外国語科目 学際基礎科目 保健体育科目 | 【学際基礎科目】 *哲学思想史 *キリスト教と世界史 *キリスト教と文学1 世界文学 *キリスト教と文学2 日本文学 *キリスト教と芸術1 美術史 *キリスト教と芸術2 音楽史 *心理学 *社会史 *法と人権1 法学概論 *法と人権2 日本国憲法 *宗教と社会1 デモクラシーと政治 *宗教と社会2 ウェーバーとトレルチ *ドイツの歴史と教会 *精神医学とキリスト教 *現代の自然観 *生命の理解とバイオエシックス *食品と栄養 *保健衛生 *情報基礎 | 【神学基礎科目】 ★キリスト教通論Ⅰ・Ⅱ ★聖書通論1 旧約通論 ★聖書通論2 旧約時代史 ★聖書通論3 新約通論・歴史 ★神学通論 【外国語科目】 ★英語ⅠA ★英語ⅠB ☆英語Ⅱ ☆英語実践Ⅰ・Ⅱ ★ドイツ語ⅠA ★ドイツ語ⅠB ☆ドイツ語Ⅱ 【保健体育科目】 ★体育Ⅰ・Ⅱ | 1年次入学者は、原則としてこれらの科目を2年間かけて履修・修得する。 3年次編入学者の場合、神学通論を除き、基本的にこれらの科目が認定されるが、履修を奨励している。 | |
| | 【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★新約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★ギリシャ語Ⅰ・Ⅱ 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅰ 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅰ・Ⅱ | 【聖書神学関係】 ☆イスラエル古代史 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅱ 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ★宗教史Ⅰ ☆宗教史Ⅱ 【実践神学関係】 ☆教会実習Ⅰ・Ⅱ ☆牧会心理学 ☆臨床牧会教育 ☆教会教育入門 ☆説教学入門 【古典語】 ☆ラテン語Ⅰ・Ⅱ 【神学書講読】 *英語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織歴史Ⅰ・Ⅱ | 【聖書神学関係】 ☆イスラエル古代史 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅱ 【歴史神学関係】 ★教会史Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ★宗教史Ⅰ ☆宗教史Ⅱ 【実践神学関係】 ☆教会実習Ⅰ・Ⅱ ☆牧会心理学 ☆臨床牧会教育 ☆教会教育入門 ☆説教学入門 【古典語】 ☆ラテン語Ⅰ・Ⅱ 【神学書講読】 *英語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *独語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ *英語神学書講読・組織歴史Ⅰ・Ⅱ | 【聖書神学関係】 ★旧約聖書神学Ⅲ ☆旧約聖書神学Ⅳ ★旧約聖書釈義 ◇ヒブル語Ⅰ・Ⅱ ★新約聖書神学Ⅲ ☆新約聖書神学Ⅳ ★新約聖書釈義 ◇新約原典講読Ⅰ ☆新約原典講読Ⅱ ☆新約時代史 【組織神学関係】 ★組織神学Ⅲ 【歴史神学関係】 ☆アメリカ教会史 ☆教理史Ⅰ・Ⅱ 【実践神学関係】 ★実践神学概論 ★キリスト教教育概論 【専攻間共同科目】 ☆アジア伝道論演習 【学部演習】 *旧約聖書学部演習 *新約聖書学部演習 *組織神学学部演習 *歴史神学学部演習 |
| 専門教育科目 | 教職概論 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。 | 教育基礎論Ⅰ・Ⅱ 宗教科教授法A・B | 心理発達と教育 道徳指導法 特別活動指導法 教育的指導と相談の研究Ⅰ・Ⅱ | 教育の方法と情報技術Ⅰ・Ⅱ 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ・Ⅱ |
| 教職課程科目 | 教職概論 3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。 | 教育基礎論Ⅰ・Ⅱ 宗教科教授法A・B | 心理発達と教育 道徳指導法 特別活動指導法 教育的指導と相談の研究Ⅰ・Ⅱ | 教育の方法と情報技術Ⅰ・Ⅱ 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ・Ⅱ |

※教職課程科目は、教育職員免許状取得希望者対象。免許状取得に必要な科目の履修・修得には最低でも3年間を要するが、3年次編入学者は、大学院修了までに専修免許状取得を目指すことができる。

研究科(大学院)

+ 実践神学研修課程(原則として必修)

| 前期課程 | 後期課程 |
|---|---|
| 【聖書神学関係】 旧約聖書原典講読Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書原典釈義Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書神学特講Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学演習Ⅰ・Ⅱ 聖書考古学 アラム語 シリア語 アッカド語 古代オリエント史Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学特講Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学演習 新約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 新約聖書原典釈義Ⅰ・Ⅱ 【組織神学関係】 組織神学特講Ⅰ・Ⅱ 組織神学特研Ⅰ・Ⅱ 組織神学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 信条学 【歴史神学関係】 教会史演習 教理史演習Ⅰ・Ⅱ 教会史特講Ⅰ・Ⅱ 教理史特講Ⅰ・Ⅱ 英国教会史 | 【実践神学関係】 宗教社会学演習 教会音楽 キリスト教教育特講 牧会心理学特講 牧会カウンセリング特研 キリスト教教育特研 実践神学演習 臨床牧会教育 牧会心理学 + 礼拝学演習 + 説教学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ + 牧会学演習 + 総合特別講義 【専攻間共同科目】 共同演習 アジア伝道論演習 日本伝道論演習 【論文演習】 修士論文指導演習旧約神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習新約神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習組織神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習歴史神学Ⅰ・Ⅱ |
| 【聖書神学関係】 旧約聖書神学特殊研究 旧約聖書文学特殊研究 旧約聖書原典特殊研究 聖書語学特殊研究 聖書考古学特殊研究 新約聖書神学特殊研究 新約聖書原典特殊研究 聖書解釈学特殊研究 原始キリスト教特殊研究 【組織神学関係】 教義学特殊研究 現代神学特殊研究 宗教改革神学特殊研究 現代哲学特殊研究 組織神学共同演習 キリスト教社会倫理特殊研究 【歴史神学関係】 神学史特殊研究 宗教改革史特殊研究 日本宗教思想史特殊研究 教父学特殊研究 | 【実践神学関係】 キリスト教化学特殊研究 キリスト教教育特殊研究 【論文演習】 博士論文指導演習聖書神学 博士論文指導演習組織神学 |

一般時間・公開授業など多彩な学び

一般時間には、外部から著名な講師を招いての講演会、本学の教員によるフォーラム、さらには学生会の総会や懇談会など、年間を通じて多彩なプログラムが実施されます。学部生・大学院生共に神学と諸学の学び、学生生活を共有する貴重なひと時です。また、国内外の講師による公開授業も行われます。



講演会



博士課程後期課程研究発表会



神学フォーラム

キャンパスライフ



入学式

- 4月 入学式・宣誓式／オリエンテーション／クラス別懇談会
- 5月 全学懇談会／学生総会／運動会
- 6月 博士課程後期課程研究発表会



●クラス

学年ごとにクラスがあります。クラスには担任の教員がおり、週に1度のクラス別祈禱会で共に祈り、学び、助け合います。卒業後も交流は続き、キリストに呼び集められた同労者として、長く支え合う牧師たちも少なくありません。



Spring



運動会



日本伝道協議会

Summer

- 7月 夏期伝道実習オリエンテーション・壮行祈禱会
- 8月 夏期伝道実習
- 9月 夏期伝道実習報告会／修士論文提出締切
日本伝道を担う青年の集い



夏期伝道実習報告会



青年の集いの分団

●日本伝道を担う青年の集い

毎年9月の第4土曜日に開催される集いです。共に礼拝を守り、テーマごとの分団、祈りとディスカッションを通して、全国の教会に集う青年たちが親交を深める機会です。参加者の中には、献身の志と与えられる方もいます。

「学生会」について

学生会では、学生自ら企画運営する様々な行事を行います。選挙で選ばれた役員を中心に、学生全員が何らかの委員会活動を担います。学生会活動を通して、学年の違いを越えて交わり、同じ目的のために働きます。全学祈禱会や修養会、クリスマス祝会などは、特に東神大ならではの行事でしょう。近年、神学生の背景は多様で、学業や教会生活がますます多忙になる中、誰もが悩みや課題を負っています。このため、2015年度は、神学生皆が主にある幸いに満たされるため、共に食事をし、聖書を読み、神学生一人一人の名を挙げて祈り合う祈禱会を行ってきました。私たちは、御言葉と祈りによって生きる兄弟姉妹であることを、実感しています。



高校生会



み言葉と祈りとおにぎり

学内礼拝

キャンパスでは、毎日学内礼拝が行われています。教師と学生が共に集って礼拝を捧げることで、知性を生かす霊性を養い、召命共同体であるとの自覚を深めます。



Autumn

- 10月 神学校日・説教奉仕
- 11月 全学修養会
- 12月 オープンキャンパス
クリスマス礼拝／クリスマス愛餐会



全学修養会



全学修養会

●全学修養会

一年に一度、秋に行われる全学的な行事です。学内外の講師を招き、学生たちが、自主的に主題を定め、プログラムを作成し、実行します。全教員・全学生が神学の学びをともに深めます。また、上級生や下級生と語らう機会であるとともに、教員と学生が寝食をともにして、祈りと修養のひとつをもちます。



クリスマス礼拝



クリスマス愛餐会

Winter

- 1月 教職セミナー
- 2月 アジア伝道研修旅行（隔年）
- 3月 卒業礼拝／卒業・修了式

●教職セミナー

毎年1月初旬の3日間、全国の牧師たちが一堂に会し、また本学大学院最終学年の神学生や他教派の教職者も参加して、主題講演や分団等のプログラムを通し、今日の教会の課題を神学的に話し合う研修会です。

●アジア伝道研修旅行

授業でアジア諸国の文化とキリスト教の歴史や課題を学んだ後、現地を訪れて、見学・交流を通してアジアの教会を知る研修旅行です。本学教員と神学生有志によって、隔年で実施されています。



卒業・修了式



東京神学大学の学生寮って？

キャンパス内にある男子寮と女子寮には全学生の半数近くが住んでいます。寮生は礼拝や共同生活、寮の行事等の交わりの中で、共に祈り支え合いながら学ぶ喜びを実感します。



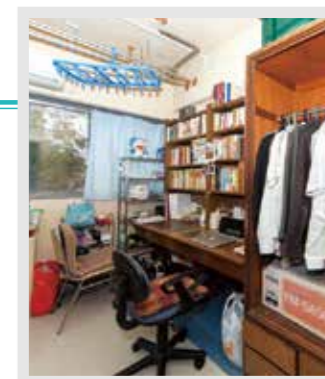
朝の寮拝



上：女子寮にある共用のキッチンスペース。
下：女子寮の一室



男子寮の一室



素顔の神学生

在学生座談会



司会



教授 大住雄一



小松美樹 (こまつ みき)
2015年度学部3年

牧師家庭で育つ。交通事故から高校通学が困難となる。無理のない非常勤をしながら献身を志し2013年に学部1年に入学。



内田光生 (うちだ みつお)
2015年度学部3年

大学卒業後、私立小学校の教員となる。悩んだ末、召命を受け牧師を志す。



李振一 (い じんいる)
2015年度学部4年

1993年韓国で受洗。2003年来日。日本の大学卒業後5年間社会人経験。2014年献身を志し3年次編入学。



渡邊典子 (わたなべ のりこ)
2015年度大学院博士課程前期課程1年

大学卒業、就職、結婚、専業主婦、兼業主婦(召命受けるも待つ)、退社後1年を経て編入学。

大住: きょうは、ただの神学生ではない人たちに、集まっています。

小松: 家族特集ということですか。

大住: そう。これで大学案内を作ります。

小松: それじゃあ、あまり苦労話はできないですね。

大住: いや、こういうことでも支えられて、なんとか神学校生活をできているということ話を話していただければ。

小松: 入学試験を受けようとした時には、結婚して、出産が予想されていたので、これは試されているのかなと思いました。でも予定日が見事に夏休み中だったので、これはみ心かなと。

大住: 李さんは、ここに来るまでに物語があるのですよね。

李: 私の場合は、妻が先に献身していました。10年前に結婚した時、妻はすでに神学生で、私も日本の大学に留学していました。両方とも学生結婚をしたわけです。妻が私をこの神学大学に導きました。その間、行くか行かないか、迷った時期もありますが、妻の支えと後押しで、それを真剣に受け入れて、今ここにいます。

内田: 私の場合は、相当特殊です。学校に長く勤めましたが、55歳になると早期退職できるのです。ところがその前に病気をし、53歳の時に病気が治っても、もう同じ職場に戻らないことにしました。その時に

献身を示されました。キリスト者でない妻は「55歳まで待ったらどうか」と言っていたのですが、入学してしまうと、献身を認めてくれました。「ちゃんと卒業して」と言うだけで協力的です。入学してからずっと朝祈っています。そのことを彼女には分らないので、彼女のためと教会の人たちのための祈りをノートに書くようにしています。もう6冊になりました。1冊終わった時に彼女に見せて、「洗礼を受けないかなあ」と話したのですが、そこはなかなかうまくいきません。朝、学生寮でも5時に起きて1時間ぐらい祈りのノートを作っています。

大住: 奥様は今どこにお住まいですか。

内田: 横浜です。

小松: 学校が始まった頃、奥さんがみんなのためにおにぎりを作って持ってきてくださいました。神学校というものにマイナスイメージがないのなら、時々遊びに来てくださるといいなあと思いました。

内田: 教会でも、おにぎりをみなさんのために作ってくれることはよくあります。運動会の時に「行こうか?」と聞いてくれたのですが、「来なくてよい」と答えました。

大住: 何?内田さんの方が断っちゃったの?

渡邊: 心はもうこちらに向いていて、あとは神様がどう押して下さるかですね。私は、入学する8年ほど前から召命を与えられていました。けれども自分は仕事をしていたし、家族もあるし、娘もまだ手のかかる頃で、「召命と言っても勘違いかもしれないな、時を待てよう」と思っていました。その後職場にいざこざがあって、私はその職場を辞めました。これこそが召命に応える準備なのかなと思って、一年アルバイトをしながら家族に話し、牧師に話し、家族も教会も納得して理解してくれました。でも、召命に応えるということがどういうものなのか、家族には想像できていなかったと思います。今、神学生と



して3年目ですが、現状を見ながら、こういうことだったのかと知っているかもしれません。実家の両親が老老介護の状態なので毎週一回通っています。当時は一人暮らしの叔母も大丈夫で、同居の父もまあまあ畑仕事をしたりしていたのですが、一年ぐらい前から状況が変わってきて、老老介護の実家の母が弱ってきて、父も弱り、一人暮らしの叔母も病気をしたりして、そちらにも関わることとなりました。同居の父には病気が発見されましたが、入院を嫌がるので、毎週病院に付き添っています。大学に来るのにもふうふうして、帰りに買い物をして家事をして、ひいひいしています。もともと勉強の時間をあまり取れなかったのが、今年に入って、自分でもよくやっていると思うほど、家事をしながら何とかかんと勉強しています。キッチンに勉強道具を置いて。この前、来週必要なテキストが見当たらなくなって探していたら、空いているお鍋の中に入っていました。修士課程になってから勉強が難しくなって、発表が多かったり、突き詰めて考えなければならぬものが多かったり。けれども、何とか、ごまかしごまかしやっています。本当はもっと掘り下げた勉強を

したいけれども、このような環境も与えられたものでしょうし、もしかしらば中断するかもしれないと覚悟したこともありましたが、「中断したとしても続けよう」という思いを与えられて、学校の仲間や教会の方々のお祈りもあって、「支えられているんだなあ」「主が導いてくださっているんだなあ」と思いながら学校に来ています。

大住: 小松さんはどうだったのですか。

小松: 妊娠5ヶ月の時に入学試験で、それまではつわりもあって、「これで入試の面接に行けるのかなあ」という不安がありました。でも試験の時にはつわりも治まって、「安心して入っていけるな」という感じでした。もともと結婚前から夫には「神学校に行きたい」と言っていました。昔から体調にも問題があって、学校には入れないなと思いつつ、「いつかは」「許されるなら献身したい」と思っていました。今年は、と決意して役員会も通った頃にお腹に子どもが与えられたと分って、でも家族をはじめ周りにも神学校に行くことに反対する人はいませんでした。あとは神様に問うしかないと。家では、勉強はほとんどできません。ここでは子どもに専念し、ここでは勉強に専念するということに、生活に区切りをつけています。

大住: お子様は、普段はお母様が面倒をみてくださるのですか。

小松: 近所に個人で家庭で保育をしてくださる方があって、そこでみていただいています。でも、朝一番早い授業の時や夕方遅い授業の時は、母に送り迎えをもらっています。でも、働いているお母さんは皆、そうなのだと知りました。そうすると、限られた時に子どもと一所懸命向き合うしかありません。この大学は、そういう家族も受け入れてくれる所です。子どもを連れて学校に来てよいし、遊びに来てよいし。

大住: 制度としては、子どもの面倒を見ることはできないのですが、周りの学生や事務の人たちが、子どもを歓迎してくれますね。内田さんは、卒業してからのことは考えておられますか。

内田: 私は、地方の無牧の教会に派遣されたいと願っています。横浜に家がありますので、妻はそこを守らなければなりません。だから、私は単身で行くつもりです。私自身、あと長くても20年しかできません。中3の男の子がいますが、今も母親と二人で仲良くやっていますし、娘は一人で生活しています。

大住: 李さんのお子さんは?

李: 6歳4歳3歳の三人の男の子がいます。子どものための時間もあまり取れませんが、子育ても妻と二人でして、他の人の力を借りることもできません。大学から帰って家事の手伝いをして、机につくのが夜の10時。それから眠くなるまで、次の日の準備や課題をします。限られた時間でも神学に触れることができるのが恵みです。妻が先に神学生になりました。私もキリスト者で、二人とも神に仕える生活でしたが、私は「伝道者として献身するのは私の道ではない」と思っていました。しかし、妻の献身の志を守る姿を見て、自分も献身しようと思いました。神の導きに違いないのですが、妻を用いて



私を導いてくださったと思います。そのご計画に感謝しています。折角与えられた道ですから、子どもたちと一緒にの時も、一緒にみ言葉に生かされたいと思います。子どもは「神学校に出かけないでくれ」と言いますが、同時に「行くなら一緒に連れて行ってくれ」と言います。家族一丸となって、全員が神様に仕えるという姿勢です。

大住: 李さん自身、別の研究の志をもって、日本から更に他の国に留学するつもりであったのに、献身したわけですね。夫婦で綱引きをして、負けたというか、妻に負けたと言えますか。

李: そうですね。大きな葛藤もありました。そのことで悩んでいた時に「まず神の国と神の義を求めなさい」というみ言葉を示されて、このみ言葉に立っていた妻が勝ったと思います。ついて行くしかありませんでした。

大住: 小松さん、お相手は大丈夫ですか。
小松: そうなんです。夫だけ置いてけ堀にならないかなと思うことはありますが、入学する時から支えてくれていますし、娘と教会に行くことも楽しんでます。また、「家族も巻き込んで、東神大の学びも教会生活も送ってほしい」と話してくれています。

大住: きょうは皆さん、ありがとうございます。





聞き手
中野 実 教授

根拠は神様にある。 躓きを恐れず教会に仕えたい。

中野：最初に、伝道者になろうと思ったきっかけについてお話しいただけますか。
中村：私はクリスチャンホームに生まれ育ったので、生まれたときから教会に通っていました。どんなときにも教会を拠り所として考えていたと思います。大学生になって東京に出てきて、十貫坂教会に通うようになると、身近に神学生という存在がありました。そうした環境が、進路に悩んだときの献身という決断につながったのだと思います。仙台で2年浪人して、普通の大学に入学したのですが、3年になってキャンパスが変わるときに自分のしたい勉強がないことに気づいたんです。そんなとき、大学を卒業した同い年の友だちが、献身すると言い出しました。はじめは他人ごとのように思っていたのですが、単位が足りていたこともあり「一緒に編入できる、浪人したのはこのためだったのだ」という思いが与えられ、思い切って編入させていただくことにしたのです。



日本基督教団 十貫坂教会
中村 恵太 牧師（なかむらけいた）

明治大学政治経済学部2年修了後、東京神学大学に編入学。2011年に大学院を修了、日本基督教団十貫坂教会3代目の主任担任教師に就任。2015年受按。

神学を学ぶ姿勢

中野：東京神学大学の学びを振り返って、どんなことが思い出されますか。
中村：神学校でいちばん学んだのは、自分が本当に思うようにいかない存在であるということです。自分のなかで、学びや牧会についての理想像をつくりあげていたのですが、それが粉々に打ち砕かれました。そのうえで、神学を学ぶ姿勢を教えていただいたように思います。
中野：つらかったことはありますか。
中村：教えていただいたことに対して打てば響くような応答がしたいのに、それができないもどかしさがありました。先生方は、本当はもっとできるのにという憐れみの目をもって忍耐されていたのでしょう。

よかったことは、そんな状況でも何とかやってこられたということです。
中野：東神大の良いところはどんなことでしょうか。
中村：良いところは、教会のためということがいつも学びの念頭にあることだと思います。単に知的好奇心を満たすのではなく、学んでいることはみな教会において用いていくことができるのです。
中野：卒業してすぐひとつの教会を任せられ、とまどいもあったと思いますが。
中村：前任の2代にわたる先生は周囲から大変評価されていました。その後を継い



十貫坂教会

だ私は、全くの新人教師でしたので、教会をあげて何とかしようという動きが生まれ、支えてくれました。ですから、本当に御言葉の説教にだけ集中し、慣れるに従って徐々にできることを増やしていけるようになってきたと思っています。

神様に召し出された喜び

中野：伝道者として歩んでいることの喜びや苦しみはどのようなものですか。
中村：最大の課題は自分自身であるといつも思っています。外的な事柄は何かできるのですが、自分の怠惰さや鈍感さがどうしてもなくまとわりついてきます。しかし、そんな自分であっても神様が用いてくださっているということが喜びです。
中野：最後に、特に献身を志す人たちへのアドバイスをいただけますか。
中村：私は、つい自分のなかに根拠を求めたくなって、こんなことができる、やれた自分だから教会に仕えていいんだと、自己義認に陥ってしまうことがありました。でも、神様に召し出されたということは、自分に根拠があるのではなく、召し出した神様の側に根拠があるのです。ですから逆にいえば、ときには大胆に踏み出して、それで一度は躓いて倒れても大丈夫なんだという思いを、最近はずいぶんになりました。これから献身を志す方たちにも、そう考えて、迷わずにぜひ入ってきていただきたいと思っています。

神学校の生活は、 すべてが神学の学びにつながる。

中野：武井先生のキリスト教との出会いをお話してください。
武井：私の生家は神社で、今は兄が神主を継いでいます。でも私は、子どものころ、神様が家の社の奥に本当にいるとは思えなかったのです。それが、高校生の時、ジイドの『狭き門』を読んで心を打たれ、教会に通うようになりました。そして洗礼を受けたのですが、父は反対もせず、洗礼式に来てくれました。その後は、就職や結婚などいろいろあって、教会ともあまり深くは関わりませんでした。
中野：神学校への入学は、どのように決意されたのでしょうか。
武井：定年退職後、東神大の公開夜間神学講座に行きましたら、ある先生が「今は献身する人が少ない」というお話をされたんです。そのとき、何かあつく燃えるような思いを経験して、その後、召命かなと思えるような出来事があり、東京神学大学への入学を決めました。

神学を学ぶ楽しさと苦しさ

中野：東神大において学んだこと、得たものはどのようなものでしたか。
武井：先生たちは、レベルの高い神学をいつも教えてくださいました。ついていけないこともあり、苦しみも味わいましたが、学ぶ楽しさも知りました。また女子寮では、1つの部屋に7、8人集まって時間を忘れてしゃべり合うこともありまし
中野：東神大についてはどのように思われていますか。
武井：教会関係だけではなく、もっと全国に知られていいのではないかと思います。中身がとても充実していますし、授



信愛の園

さったのだと思います。

神様が支えてくださる

中野：チャプレンとは、具体的にどのような働きをされるのですか。
武井：ホスピス病棟の患者さんのスピリチュアルケアを中心に行っています。入院時の問診票に書かれた宗教との関わりや看護師さんの情報から、お話ができそうな方の部屋を訪ねて最初は普通のお話をし、興味がある方には宗教的なお話もします。一緒にお祈りさせていただいたり、キリスト者の方とは聖書を一緒に読んだりもします。また、院内礼拝や職員朝礼拝、それからクリスマスや賛詞交歓会など、さまざまな行事もあります。
中野：伝道者として歩んでいることの喜びや苦しみはどういうものですか。
武井：私はやはり、自分が至らないこともあり、試されているんだと思います。説教を準備するときには何日間かの苦しみがあり、できあがったときには神様が助けてくれたという喜びがあります。
中野：伝道者の道を歩み出そうとされている方に、何かアドバイスがありますか。
武井：やはり呼びかけられたら「はい」と応えていただきたいと思います。経済的な問題をはじめいろいろなことを考えるとなかなか踏み出せない場合もあるかと思いますが、神様は必ずそれを支えてくださる用意をされていますので、ぜひ踏み出していただきたいと思っています。



社会福祉法人 信愛報恩会 信愛病院
武井 アイ子 チャプレン（たけい あいこ）

看護師を定年退職後、東京神学大学に編入学。2011年に大学院を修了、社会福祉法人信愛報恩会のチャプレン、日本基督教団清瀬信愛教会協力教師に就任。2015年受按。

業の幅も広く、その後もそれを生かして用いていくことができる、本当にまれな学校ではないかと思います。
中野：実際のお働きのなかで、神学校での学びの課題を感じたことはありますか。
武井：私は、チャプレンとして患者さんと関わるようになりました。ですから、臨床心理や患者さんに対応する技術を学んでおけばよかったと思いました。
中野：チャプレンとしてのお働きへ、ご自身の希望で行かれたのですか。
武井：私は、前職が看護師でしたので、そういうことから、学長が勧めてくだ